

書窓

Shoso

No.443

2022.4

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鰯

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

子どもの本だな 101

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ママ、ママ、おなかがいたいよ

レミー・チャーリップ/バートン・サプリー さく
レミー・チャーリップ え つぼい いくみ やく
(福音館書店)

おなかが風船みたいにパンパンに膨れた男の子が「ママ、ママ、おなかがいたいよ。おいしゃさんよんで、はやく、はやく。」

医者が駆けつけてみると、男の子の顔は真っ青。こんな病気はみたことがありません。大急ぎで病院に運び込み、おなかのなかを調べてみました。「ははん、わかった。」医者は青りんごを1個取り出しました。ところが、それだけではありません。続いて青りんご2個とボール、バースデーケーキ丸ごと、ポットに入ったお茶、うさぎ、お母さんの帽子…最後はなんと自転車まで出てきました。

シルエットだけの絵で、おはなしがテンポよく進み、ページを繰るごとに、男の子のおなかから次々に出てくる物の意外さとそれを当てる楽しさがあります。読んでもらえば5歳から楽しめます。(竹内)

白いりゅう 黒いりゅう 中国のたのしいお話

賈芝・孫劍冰 編 君島 久子 訳
赤羽 末吉 絵 (岩波書店)

昔、虎はのろまで、ぶきつちよで獲物をとるのもしくじってばかり。ある時、すばしこく動く猫を見て、弟子にしてくれと頼みます。虎の性根の悪いことを知っていた猫は断りますが、虎は絶対に裏切らないと誓ったので弟子にしました。猫は朝から夜まで虎を仕込みました。山こえ谷こえの技では、何度も山から転げ落ち谷川につんのめる虎を引っ張り上げ、獲物を捕らえる技では、爪を研ぐことから飛びかかる方法まで一生懸命仕込みました。ところが技のほとんどを覚えた虎は、猫を見て思わずよだれをたらしめました。(「ねこ先生ととらのおでし」)

50余りの多民族国家、中国の中でも少数民族に伝わる話を中心に集めた昔話集。広大な土地、険しい山々を舞台に雄大で厳しくまたユーモアのある物語が6編収められています。読んでもらえば5歳くらいから楽しめます。

(西村)

4月	5月	4・5月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
7日	12日	塚森 地域内 10:30~ 10:50	沖代 地域内 11:00~ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~ 15:50
14日	19日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20
21日	26日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~ 15:50	吉福 公民館 16:00~ 16:20

<お知らせ>

一日図書館員を募集します

本の整理、貸出や分類など図書館の仕事を経験してみませんか?

・日時: 4月24日(日)

9:15~16:00

・対象: 小学6年生~高校3年生
(図書館の利用者で、責任をもって仕事のできる人。)

・定員: 3名(申込多数の場合は抽選)

・申込方法:
本人来館の上、窓口で申込

・申込期限:
4月17日(日)18:00まで

『ドードーをめぐる堂々めぐり 正保四年に消えた絶滅鳥を追って』 川端 裕人 著

岩波書店 vi, 238, 10 頁 2021 年 11 月刊 2,970 円 (請求記号)488.2

2014年、著者は偶然、ロンドン自然史博物館のサイトで、「ドードーが日本に旅していたことを示す論文を発表した」という記事を見つけた。著者はこの論文に引き込まれ、自らこのドードーの行方を追う「堂々めぐり」の旅を始める。

ドードーは、インド洋にあるモーリシャス島の固有種で、飛べないハトの仲間だ。1598年、島にオランダ人入植者が到来した事で、人間や家畜などに乱獲され、発見からわずか64年後に絶滅したとされている。だが、17世紀は生き物が絶滅するという現象自体知られておらず、絶滅から約2世紀後の19世紀になってやっとドードーの絶滅は認知され、「人間によって絶滅したことがはじめて証明された例」となった。そのため、詳しい生態はわからず、頭部や脚の一部分の骨とわずかな皮膚のみしか残っていなかった。そんな貴重なドードーが日本に来ていた。

論文によると、オランダの国立公文書館に保存されている出島の「商館長日記」に1647年に日本に送られたドードーが長崎の出島まで到着していた事を示す記述があり、これは捕獲されたドードーの最後の記録でもあるらしい。そこで著者は出島などで関連文献を調べ、あらゆる方面から行方を追ったが、日本での記録は確認できなかった。その後、ヨーロッパに飛び、論文著者と共に実物の「商館長日記」を確認し、現存する貴重な「プラハのクチバシ」「コペンハーゲンの頭部」「オックスフォードの頭部と脚(皮膚付)」を訪ね各国を巡った。そして遂には、モーリシャス島での発掘調査にまで参加する。

著者の熱意と探究心に溢れる本書には、標本の写真や描かれたドードーの絵なども多く収録され、より深く楽しめる。ほかにも、モーリシャス島やその周辺の島々に生息していた様々な固有種が人間によって絶滅していた話や、徳川慶喜の孫でドードー研究の世界で有名な蜂須賀正氏の話なども興味深い。蜂須賀の生涯は『絶滅鳥ドードーを追い求めた男』村上紀史郎著(藤原書店)に詳しい。

(池之上)

4月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	×	6	7	8	9
10	11	×	13	14	15	16
17	18	×	20	21	22	23
24	25	×	27	28	29	30

5月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	×	×	4	5	×	7
8	×	×	11	12	13	14
15	16	×	18	19	20	21
22	23	×	25	26	27	28
29	×	×				

▶ ×印は休館日 [5/2、5/6、5/9は祝日の振替、5/30は館内整理日] ※閉館時は返却ポストへ返却してください。
▶開館時間は10:00~18:00、金曜日は20:00まで開館

<お知らせ>

親子でおいがみ
お花のメッセージカードを作ろう!
・日時:2022年5月8日(日)
10:30~12:00
・場所:図書館 読書会室
・対象:5歳以上(要申込)
・定員:6家族(1家族3人まで)
・持ち物:はさみ
・参加費:無料
・申込:太子町立図書館
※定員になり次第、締め切ります。
※詳しくは太子町立図書館まで。

地下水

利用者のIさんに薦められた『老後とピアノ』(稲垣えみ子著)を読んでみた。著者は、仕事をやめてから、ずっとやりたかったピアノに挑戦。毎日かかさずピアノに向かい、ぐんと上達したり、壁を乗り越えられずもがいたりしながら、最終的に1フレーズでも(たとえ1音でも)自分が美しいと思える音をだせれば満足という境地に至る。一気に読み終え、自分も今の一日を大事に、一瞬一瞬を楽しみたいという気持ちになった。

図書館員として「利用者のあの人にこの本を」と薦めるのは仕事だが、反対に利用者から本を薦められて読むことも多い。お互いに本を薦め合えるというのは、信頼関係があつてこそだと思ふ。カウンターに座るときは、ひとりひとりと丁寧に向き合い、親しみやすい雰囲気心がけたい。新しい年度が始まり、職員にも新しい顔が増えた。親しく声をかけていただき、本を薦めあえるような関係を築いてもらえれば嬉しい。

8年間通った趣味の教室を、事情によりやめることにした。冒頭の著者のように、また何か新しいことに挑戦してみるのもいいかもしれない。

(池田)